

平成26年度 東大和市行政評価推進会議における最終評価

No.	事務事業名称 (主管課)	外部評価結果						最終評価	
		拡大の 方向	現状 維持	廃止に向 け縮小	休止 ・ 廃止	意見	コスト		成果
1	市営住宅管理事業 (総務管財課)	0	0	2	4	<p>老朽化しており安全面が心配である。入居者が快適、安全に住める視点で、住み替えの斡旋の検討を進めたらどうか。</p> <p>また、解体後の空き地については、防草シートを一部の空き地ではなく全部に敷くなどして管理経費を軽減すべき。</p> <p>市営住宅のあり方は早急に検討すべき。</p>	減	低下	<p>市営住宅のあり方については、住宅施策に係る部署を中心に検討を進め、その方向性を決定するまでは、現状の管理を維持する。</p> <p>なお、並行して、居住者の意向を確認した上での住み替えの手法や、空き地の管理経費の軽減に向けた検討を進める。</p>
2	駅前広場管理事業 (環境課)	1	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 駅前トイレは臭い、暗い、汚い、改修はしないのか ボランティアの協力や近隣の店舗に協力を募るとか工夫はできるのではないかな。 公衆トイレは無くても何とかなるのではないかな。 	維持	向上	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場については、運営面での柔軟な対応を図り、効率的な管理を行うとともに、アドプト制度の活用等も推進していく。 駅前広場のトイレについては、利用者も多く、必要性が高い。そのため、東大和市駅前広場のトイレについては、老朽化に対応する施設改修を検討する。
3	高齢者食事サービス補助金交付事務 (高齢介護課)	0	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始時には弁当の宅配業者は少なかったが、現在では増えており、特別食への対応も出来る業者もいる。 安否確認は、他の事業でも良い。 意義のある仕事だと思う。 なぜ生活保護者に200円の補助をしているのか。 	減	低下	<p>高齢者を対象とした配食サービスの必要性は高いものの、本事業の開始当初と比較して、民間事業者が担える範囲が広がっている現状がある。</p> <p>一方、介護保険法が改正されたことに伴い、今後、平成27年度以降の在宅高齢者に対するサービスのあり方が見直される見込みである。</p> <p>これらの状況を踏まえ、同法の改正後の動向を注視しつつ、本事業のあり方を検討していく。</p>
4	図書館の運営 【清原図書館】 (中央図書館)	0	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 年間1/3が休館日である。開館日を増やしてほしい。 貸出冊数は減少しているが、図書館利用者は増えているのではないかな。 本を借りるだけでなく長時間利用する人も増えているのではないかな。図書館の役割は、少し変わっていかざるを得ない。 利用者との懇談などで意見を聴くことも大切。 指定管理という方向に進むべきではないかな。 	維持	向上	<p>「東大和市公の施設の管理運営のあり方検討委員会」における検討の対象施設であることから、開館日の増については、同委員会における検討経過を踏まえ、必要な検討を行っていく。</p>

※外部評価結果欄の数字は、方向性を示した委員の人数です。